

研究の概要

摂食機能の維持・向上のために摂食嚥下訓練が必要であり、各患者の摂食状態に合わせて摂食訓練法を設定している。しかし、業務の忙しさや焦り・効果の実感性が薄いため実施への意識が薄れ、継続して行えていない。今回調査を行うことでスタッフの意識改善を図り、対策を見つける。

研究期間

承認日より2021年12月31日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

看護部3病棟
看護師 鈴木 ちえ美

オプトアウト

特記なし